

1. 公募テーマの概要

(1) B-DASH プロジェクト

実規模実証

公募テーマ	概要
① 過疎地域の人口減少時や災害時に移設可能な水処理技術	災害発生により処理施設の機能が停止した場合や、将来の人口減少を見据えた処理施設の一時的な能力不足を補う場合に利用可能な、運搬、組立、解体、運転立上、維持管理が容易な水処理技術を開発する。
② 中小規模処理場同士の広域化に資する低コスト汚泥減量化技術	中小規模処理場同士の広域化に資する低コスト汚泥減量化技術を用いることで、低コストで中小規模処理場同士の脱水汚泥集約処理が可能となり、かつライフサイクルコストの縮減が可能となる技術を開発する。
③ クラウドやAI 技術を活用した効率的なマンホールポンプ管理技術	中小都市に数多く設置されているマンホールポンプの管理について、クラウドやAI 技術を活用して効率的かつ低コストで省人化する技術を開発する。

FS 調査

公募テーマ	概要・ねらい
④ 効率的な管渠劣化状況の自動判定システム	下水道管渠の点検調査で撮影する画像から、AI を活用し、損傷部位・損傷種類・損傷程度を、従来より格段に効率よく特定することを可能とし、診断・評価する技術の開発を行う。
⑤ 管渠の劣化状況等の効率的なスクリーニング調査技術	下水道管渠に起因する陥没の兆候（空洞、地盤のゆるみ等）やその原因となる管渠の異状（腐食、浸入水、クラック等）を格段に迅速かつ効率的に点検し、管渠の維持管理を効率的に実施できる技術の開発を行う。
⑥ 雨天時浸入水による流量変動に対応可能な水処理技術	雨天時浸入水による流量変動に対応可能な水処理技術の開発を行う。

(2) 下水道応用研究

公募テーマ	概要・ねらい
① 悪条件における管路施設の維持管理コスト低減に資する技術	下水道管路には点検・調査や改築更新が困難な悪条件な箇所があり、それらの課題を克服する維持管理に資する点検・調査技術や管材の開発を行う。
② 下水処理場のエネルギー拠点化に向けた蓄エネルギー技術	災害発生時の人、モノ、情報及びライフラインなどの利用できる資源に制約がある状況下においても、適切に業務を執行することを目的とした創エネルギー、蓄エネルギーなどの技術を開発する。また、平常時におけるエネルギー使用のピークカットとしての利用も想定する。
③ その他の技術	下水道をめぐる現状及び近年の社会情勢の変化等を捉え、下水道政策への貢献が特に見込まれる技術を広く募集する。

2. 説明書の交付

(1) B-DASH プロジェクト

期間：①, ②, ③ 公募開始日から令和2年2月14日（金）12時まで

④, ⑤, ⑥ 公募開始日から令和2年2月21日（金）12時まで

詳細：下水道部 HP を御参照ください。

URL http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000665.html

(2) 下水道応用研究

期間：公募開始日から令和2年2月21日（金）12時まで

詳細：下水道部 HP を御参照ください。

URL：http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000666.html

3. 説明会の開催

B-DASH プロジェクトの公募に当たり、以下のとおり説明会を開催します。参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。

日時：令和2年1月21日（火）10時～12時

場所：〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号水道町ビル8F

（公財）日本下水道新技術機構内 会議室

※下水道応用研究は説明会の開催を予定しておりません。

4. 応募書類の提出期限

B-DASH プロジェクト ①, ②, ③：令和2年2月14日（金）12時 必着

④, ⑤, ⑥：令和2年2月21日（金）12時まで

下水道応用研究 ①, ②, ③：令和2年2月21日（金）12時 必着

5. 審査方法

応募案件の審査等の透明性、公平性を確保するため、有識者委員会において審査を行います。有識者委員会において、あらかじめ定めた審査基準に基づき、応募書類の審査を行います。

6. 事業実施期間（予定）

B-DASH プロジェクト：契約締結の翌日から令和3年3月31日まで

下水道応用研究：契約締結の翌日から令和3年3月19日まで